



尼崎市制110周年プロジェクト①



吉川 真理子さん

市制110周年を記念した ロゴマーク制作の「想い」や「狙い」

曾田 尼崎市は2026年に市制110周年を迎えるにあたり、市制110周年記念プロジェクトを展開することを決定し、ここにいる安田と吉川はそのために招集されたメンバーです。市としてはプロジェクトを立ち上げたものの、尼崎市に住んでいる方にとって、110周年と言われてもピンとこない人もいらっしゃるかもしれません。尼崎市に住んでいる方やお仕事に来られている方、その他大勢の方と盛り上げていきたいという想いからロゴマークの制作を決めました。

吉川 制作にあたり、このプロジェクトの認知度を高めていく目的から、ロゴマーク原案を広く募集しました。神鋼鋼線さんにもビラの掲示や配布を行っていただきました

が、今年の7月1日～8月15日の期間で募集し、300件を超える応募がありました。

安田 全国から、小さなお子様からプロのデザイナーまで幅広く応募をいただくことができました。

ロゴマークの審査方法は？

曾田 検討会議を設けて、有識者のご意見を聞き、市が決定するという方法を取りました。検討会に参加していただいた有識者の委員は、グラフィックデザイナーやMBS企画、園田学園大学、あまがさき110ミーティング構成員の方といった、多方面の方から構成されています。デザイン性や尼崎市の歴史、市民の方からの見え方など、様々な観点からご意見をいただきたいという想いからです。

吉川 すべてのデザイン案に番号を付与し、全部並べて意



市制110周年を記念した「ロゴマーク」が決定しました！

テーマ 「あまがさき つなぐ つながる うごきだす」

作者のメッセージ 尼崎の伝統野菜、「尼いも」「田能の里芋」「一寸そら豆」が、笑顔で、仲良く手をつないで歩き出すイメージで作成しました。この3種の野菜たちは、尼崎市制110年より、もっともっと昔から育てられ、続いてきた歴史があります。町の伝統野菜を育て続けることと、食することは、人々の心も、町の経済もうおし、幸せにつながっていくと思います。尼崎市も、ずっとずっと人々に愛され、幸せな気持ち溢れる町であり続けることを願います！

作成者情報 市内在住 hossy nakkie (ホッシーナッキー)

ロゴマーク

つながりつながる
うごきだす



安田 健人さん



見交換を行いました。初回の検討会議では、委員の皆様の見るポイントが違うため、非常に盛り上がり全然時間が足りませんでした。最終的には、最優秀賞・優秀賞・こどもデザイン賞を選出し、最優秀賞が今回決定したロゴマークとなっています。

安田 ロゴマークなので、当然、デザインは重視するのですが、それぞれのデザインに理由やエピソードが書いてありました。すごく良いエピソードもたくさんあって、迷っていたポイントの一つかと思います。

一番苦労されたポイントは？

吉川 ロゴマークを募集して集まるのか、すごく広報が不安でした。この部署に異動する前は、「あまがさき観光局」で仕事をしていたので、神鋼鋼線をはじめ、多くの企業様に回らせていただき、プロジェクトやロゴマークの募集を広報させていただきました。今回のように、“線輪”でも取り上げていただき、感謝しています。

市制100周年を記念する石碑



安田 吉川さんとは異なり、地域活動に軸足を置いた仕事をしてきました。尼崎には生涯学習プラザというものがあるのですが、それぞれに各地域と繋がっているプラットフォームがあり、そこで広報に注力しました。尼崎市は、他の市と比べて、市民の皆様と街づくりを行っている街だと言われています。

市制110周年記念プロジェクトについて

吉川 市民の皆様や事業者の皆様が築いてきた尼崎市、その歴史に触れてもらうきっかけになったら良いなと思っています。みんなで振り返り、一人ひとりが自分事に捉えて



曾田 研之介課長

くれたら、もっと尼崎を好きになってもらえるんじゃないかと思っています。

安田 尼崎市を長らく支えているのは市民の皆様である実感があります。市民の皆様にスポットがあたり、次の世代に受け継がれるプロジェクトになれば良いなと思っています。

曾田 このプロジェクト自体、「110」という特別キリが良い数字ではない中、そもそも「やるか、やらないか」からの議論から始まっています。ただ、最終的には、「100年を迎えた後のこの10年は尼崎市にとって特別なものだ」という強い思いのもと、市としてプロジェクトを実施するという判断をしました。この10年の変化を実感してもらえる機会になったら良いなと思っています。

(敬称略)

Next

尼崎市制110周年プロジェクト②に続く

「110周年へ —— 市民と紡いだ新たな物語」

2016年からの10年間は、中学給食の開始や、生涯学習プラザの設置など、市民生活の向上につながる施策を行ってきました。2026年には110周年を迎え、新たなステージが始まります。

1985年(昭和60年)

